

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No225

2024年3月15日

発行所 兵庫教育文化研究所
〒650-0004
神戸市中央区中山手通4-10-8

「生命を生み出す体への成熟」授業研究会

保健・体育部会

保健・体育部会は佐用町立上月中学校にて、中学1年生保健「生命を生み出す体への成熟—2」の単元で授業研究会をおこないました。授業は、本校保健体育教員と養護教員の2人によるT・Tで実施しました。保健体育教員と養護教員がともに授業をおこなうことで、互いの特性を生かしながら多面的な視点で授業を展開し、授業への理解を深めたいという思いがありました。また、保健室に人間関係や性についての悩みなど相談に来る子どもたちに、授業を通して科学的に説明し、多感な子どもたちへ精神面のサポートもおこないたいという思いもありました。このようなことから、性をおつかう単元の授業には、養護教員として積極的に参加するようにしています。保健体育教員と授業をする際に、発育・発達には性差や個人差があることを各所で触れ、中学生の感受性に配慮することを確認しました。

授業の最初に、本時の目標「射精や受精、妊娠の仕組みについて学習し、心と体の成熟について理解しよう」をあげた後、保健体育教員が前時の授業の振り返りをおこない、男子の生殖器官の発達と成熟について説明しました。次に養護教員が、女子の生殖器官の発達と妊娠の仕組みについて説明しました。授業は主にプレゼンテーションソフトを使用しましたが、タブレットを活用して画面が見やすいよう配慮しました。思春期には、月経についての悩みや不安を抱える子どもも多く、より理解を深めるために手づくり教材の子宮モデルを見せ、大きさや形などをよりリアルに感じてもらい、月経や月経痛の仕組みを詳しく説明し、生殖器官の機能と重要性の理解をはかりました。また、授業の中で月経痛がひどいときの対処法や、不安な時にはいつでも保健室へ相談に来ていいことを伝えました。



授業を通して思春期の体の発達を詳しく学ぶことで、とても驚いていたり、真剣に学んだりする様子がみられました。また授業後に、保健室に質問に来たり、自分の体の発育のことを相談に来たりする子どももいました。

事後研究会では、参観者から「小学校と比べ、中学校になると語句が一気に難しくなることに驚いた」、「出産についての説明では、生命誕生の感動部分に触れてもよかったのでは」、「テンポの良い授業で、動画の教材がとてもわかりやすかった」等の意見がありました。また、協力研究所員から、「月経は健康のバロメーターであり、月経周期のことや、月経困難症、無月経についても触れてほしい」、「保健指導、保健学習、性教育については線引きをしっかりと考え、指導してほしい」等多くの指導助言をいただき、学びの多い事後研究会となりました。



保健・体育部会では、子どもたちを中心にすえた「わかる・できる・楽しい授業」をめざし、今後も研究を続けていきます。

(本授業の授業案は「組合員専用ページ」⇒「各部会研究授業 指導案等」に掲載しています。ID・パスワードは各地域組合へお問い合わせください。)

★兵教組HP 組合員専用ページ⇒

